

様式第 2 号の 1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1－①を用いること。

学校名	専門学校愛知保健看護大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
医療専門課程	保健看護学科	夜・ 通信	109 単位	12 単位	
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」刊行物を本校事務室において必要に応じ閲覧できるよう準備している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2 - ① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2 - ②を用いること。

学校名	専門学校愛知保健看護大学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人吉田学園役員名簿を本校事務室において必要に応じ閲覧できるよう準備している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	建築設計事務所代表	2025. 5. 24. ～ 2029. 5. 23.	経営計画全般
非常勤	会社代表者	2025. 5. 24. ～ 2029. 5. 23.	経営計画全般
非常勤	社会福祉法人管理職	2025. 5. 24. ～ 2029. 5. 23.	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校愛知保健看護大学校
設置者名	学校法人吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書については、保健看護学科教育運営会議において新年度の授業計画の方針を検討し、各授業科目の担当教員は厚生労働省の保健師助産師看護師養成施設指定規則に則り、また本校の「地域社会のニーズに応えられる専門職業人の育成」を踏まえ、新年度前に授業計画書を作成している。 授業計画書の内容は、科目名、単位・時間・回数、開講時期、担当教員名、授業の概要及び目標、授業の計画(授業の内容)、使用教科書、参考書・教材・参考文献、授業の進め方、受講者への要望、評価の方法を記載している。 また、授業計画書は年度初めに全学生に配布している。	
授業計画書の公表方法	全学生に印刷配布し、また、学校事務室に授業計画書を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位の認定は、校長、副校長、教務主任、教務主任補佐、実習調整者、専任教員をもって構成する年度末に実施する認定会議において認定される。なお、学則第 9 条で講義、演習は 15 時間または 30 時間をもって 1 単位、実習は 30 時間または 45 時間をもって 1 単位と単位の計算方法を定め、学則第 11 条では各科目履修時間の 2/3 以上の出席と C 評価(60 点)以上の成績評価(授業計画書の評価の方法に示された試験や課題レポート等による評価)をもって単位を認定すると定めている。また、学則第 11 条には追試験および再試験は 1 科目につき 1 回受けることができることも定めている。 また、履修及び単位の認定に関する規程では、単位を取得するための履修方法(学生は当該学年に開講される科目を履修する)、単位を取得するための試験の実施内容(筆記試験、レポート試験、口述試験、実技試験、再試験、追試験)、成績の評価方法(90 点以上は S、89～80 A、79～70 B、69～60 C、59 点以下は D 不合格)について示している。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 履修及び単位の認定に関する規程により科目の成績評価は 90～100 点を「S」、80～89 点を「A」、70～79 点を「B」、60～69 点を「C」とし 60 点以上を合格とし単位の認定を行っている。60 点未満は「D」となり不合格となる。 成績の分布状況の把握については、学年毎に成績評価の平均点及び分布の状況を算出し、学修状況の課題分析に努めている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	学生便覧により学生に配布している。また、学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学則第 26 条に則り、卒業に必要な 1 3 3 単位を修得した者について、卒業認定会議を経て、校長が卒業認定を行う。 但し、欠席日数が 1 / 3 を超えない者に行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧により学生に配布している。また、学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	専門学校愛知保健看護大学校学校
設置者名	学校法人吉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
収支計算書又は損益計算書	学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
財産目録	学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
事業報告書	学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。
監事による監査報告（書）	学校事務室に刊行物を備え付けておき、閲覧の求めに応じている。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療分野		医療専門課程	保健看護学科			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	1 3 3 単位	9 4 / 単位	1 1 / 単位	2 8 / 単位	0 / 単位	0 / 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 6 0 人		1 2 2 人	0 人	1 4 人	8 8 人	1 0 2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○授業方法及び内容 1）基礎分野 科学的思考の基盤、人間の生活と社会の理解を学ぶ分野である。人間の一般的なあり方から社会的な存在としての意味を学ぶことにより、人間の理解を深めるとともにコミュニケーション能力・情報通信技術を活用するための基礎的能力を養い専門職業人としての豊かな人間形成を目指す。豊かな人間形成とは、命あるものを尊び、人の輪を大切にし相手の立場に立ち一人一人の健康に寄り添って支援でき、社会に有益性をもたらすと共に地域と学校の発展に寄与できる人材を育成することである。 ①科学的思考力及びコミュニケーション能力を高め、感性を磨き、自由で主体的な判断と行動を促す内容 ②人間と社会の仕組みを幅広く理解する内容

③国際化へ対応しうる能力、情報通信技術（ICT）を活用するための基礎的能力を養う内容 ④人権の重要性について十分理解し、人権意識の普及・高揚を図る内容 ⑤地域及び地域を構成する人々の暮らしを理解する内容 2) 専門基礎分野 人間の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、健康支援と社会保障制度を学ぶ分野である。 地域の発展に寄与できる人材の育成のために、人間の体と心における健康のあり方と、その変化としての病気、さらに社会的な仕組みを理解しつつ健康問題を保健統計的な視点で捉え、地域が抱える健康課題を把握できるようにする。さらに、健康課題に対応するための多職種連携の基礎的能力を養う。 ①看護実践の基盤とするために看護学の観点から人体を系統立てて理解し、健康・疾病・障害に関する観察力、判断力を強化する内容 ②臨床判断能力の基盤となる演習を強化する内容 ③人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養う内容 ④保健・医療・福祉に関する基本概念、関係制度、関係する職種の役割と、連携の必要性を理解する内容 3) 専門分野 基礎看護学、地域・在宅看護論、公衆衛生看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践で構成される分野である。 一人一人の健康に寄り添って支援でき、地域の発展に寄与できる人材を育成するために各領域において健康課題に対応する為の科学的な根拠に基づいた臨床判断能力と多職種連携の基礎を含めた看護の方法を学習する。また、対象を地域（個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体））とし、健康課題に対して保健医療福祉の視野から捉え、社会的資源の活用の調整、健康支援のための看護活動について学ぶ。 看護実践の基礎としてこれまでの学習を統合し、現場の状況に即した看護を臨地で学ぶ。さらに、臨地での学びを学内においてリフレクションすることにより看護実践能力を高める。 ○年間の授業計画については教育運営会議で決定し、授業科目毎に授業計画書を作成している。授業計画書は、年度初めに全学生に配布している。	成績評価の基準・方法
(概要) 履修及び単位の認定に関する規程により科目の成績評価は 90～100 点を「S」、80～89 点を「A」、70～79 点を「B」、60～69 点を「C」とし 60 点以上を合格とし単位の認定を行っている。60 点未満は「D」となり不合格となる。	卒業・進級の認定基準
(概要) 学則第 26 条に則り、卒業に必要な 133 単位を修得した者について、卒業認定会議を経て、校長が卒業認定を行う。但し、欠席日数が 1/3 を超えない者に行う。進級に関しては、本校は単位制であることから原則在籍年数に応じ進級する。	

学修支援等
(概要) ・ 少人数ゼミクラスによる担当教員による学習支援 ・ 学習成果の乏しい学生への個別学習支援 ・ 国家試験対策特別講義の実施及び模擬試験の実施 ・ カウンセラーによる個別相談の実施 ・ 学習ルーム（演習室）の貸し出し

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	0人 (0%)	38人 (95%)	2人 (5%)
(主な就職、業界等) 概ね看護師として医療機関に就職する。一部保健師として行政や産業に就職する。			
(就職指導内容) 2年次と3年次には医療機関を招き就職ガイダンスを実施している。また学年担当教員及びゼミ担当教員により個別に就職相談や面接指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・ 医療専門課程高度専門士の称号付与 ・ 看護師国家試験受験資格 ・ 保健師国家試験受験資格 ・ 助産師学校受験資格 ・ 大学院入学資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	1人	0.8%
(中途退学の主な理由) ・ 本校の教育課程での学習成果が乏しく他分野に進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 本人及び保護者同伴のもとによる教員による複数回面談 ・ カウンセリングルームの開設		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保健看護学科	300,000 円	920,000 円	450,000 円	その他内訳 ・実習費 180,000 円 ・施設設備費 150,000 円 ・教育充実費 120,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 希望者は学校事務室で専門学校愛知保健看護大学校自己評価結果を閲覧できる。		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
以下は学校評価の実施内容 (主な評価項目) ・以下の学校の自己点検・自己評価結果をもとにし次年度以降への改善及び提案について評価する。 教育理念・目的・人材育成 学校運営 教育活動 教育成果 学生支援 教育環境 学生募集 財務 法令の遵守 社会貢献・地域貢献 (評価委員の構成) ・5名以内で校長が委嘱する。 (委員の選出区分) ・本校職員以外の本校の関係者で校長が委嘱する。 (評価結果の活用方法) ・学校運営委員会において結果の承認を行い、その結果を活用し教育活動及び学校活動等の質の保証と向上に継続的に努める。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
実習先責任者	2025. 4. 1. 2027. 3. 31.	～ 実習先関係者
学校医	2025. 4. 1. 2027. 3. 31.	～ 医療関係者

令和 8 年度申請書

学校カウンセラー	2025. 4. 1. 2027. 3. 31.	～	学校関係者
卒業生	2025. 4. 1. 2027. 3. 31.	～	卒業生
第三者評価結果の公表方法			
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 希望者は学校事務室で専門学校愛知保健看護大学校学校関係者評価結果を閲覧できる。			
(備考)			
第三者評価については未実施で、令和 1 2 年度までに実施する方針で、実施方法及び体制について現在検討中。			

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://aichi-skf.ac.jp
--